



県立横須賀大津高等学校 (旧：県立横須賀高等女学校)

校歌

(明治四十年制定)

作詞・作曲 本居豊穎

編曲 川上哲夫

一、この横須賀はかしこくも

皇居に程も遠からぬ

東京湾の要塞地

帝国一の軍港ぞ

二、此処に建てたる学校は

その責いかで軽からむ

ますら男ならぬ女とて

日本雄心忘れめや

三、前に見わたす海広く

うしろにつづく山高し

学びはひろく身に修め

功は高く世に立てむ

(大正十三年制定)

作詞 松岡静雄

作曲 信時 潔

一、相模の海の走り水

かぐはしき名を後の世に

語りつぐがね乙女らが

学びの庭にいそしめる

二、すめらみことの大宮の

かなとの護りますらをが

立てし功をここに見る

これぞわれらの誇りなる

三、女の教へ人のみち

皇国につくす真心を

忘るなゆめとおほみこと

かしこみ守る朝な夕なに

(昭和二十一年制定)

作詞 吉野秀雄

作曲 橋本国彦

一、相模の小野の走り水

燃ゆる真命ひとすぢに

仕へまつりしたちばなの

姫の御名こそかぐはしや

二、朝夕窓に眺むらく

大津の浦の重波は

海の外なるもろもろの

国の進みをひびかすれ

三、大和をみな道の踏みて

あたらしき世に遅れじと

清く明るく励みあひ

学ぶ月日の楽しみよ

楽しみよ

(昭和五十六年制定)

作詞・作曲 團伊玖磨

一、南に伸びる半島の

常磐の緑丘を背に

横須賀の海見下ろして

立てる大津 わが母校

ここに集い ここに学ぶ

若き日僕達私達

ああ大津 大津高校

二、橘姫の玉小櫛

流れて寄った走水

浜木綿の花香ぐわしく

朝な夕なの わが母校

ここに集い ここに歌う

歴史の重さ美しさ

ああ大津 大津高校

三、希望は公孫樹空高く

心は広く太平洋

育とう強くたくましく

光眩しい わが母校

ここに集い ここにはばたく

未来の夢を目指し行く

ああ大津 大津高校